

調整計画

はこちら

5つのテーマに沿って現行計画を見直した部分を中心に掲載しています。現行計画のうち、テーマに関連しない部分の記載は省略しています。なお、見直した部分の内容について詳しくは、計画案の冊子をご確認ください。

子育て世代への外出支援

子ども・教育

基本施策3 子どもと子育て家庭を地域社会全体で応援する施策の充実

① まちぐるみで子どもと子育て家庭を応援する事業の推進

子どもと子育て家庭への支援については、子育てをしている家庭や保護者のみならず、社会全体で取り組む必要がある。

地域社会全体で子どもと子育て家庭を応援するため、市民や事業者との連携、協働の事業を進め、子どもがいる世帯が働きやすいまちづくり、子どもと一緒に訪れやすいまちづくりを推進する。また、子どもと一緒に安心して外出できる施策を移動の負担が大きい世代を中心に実施する。武蔵野のまち全体で、あらゆる分野で子どもの視点に立った、子どもと子育てを応援するまちを推進する施策を実施していく。

都市基盤

基本施策3 誰もが利用しやすい交通環境の整備

② 市民の移動手段の確保

(略) また、地域公共交通*の利用に不便を感じながらも、レモンキャブやリフトタクシーつながりの登録対象とならない高齢者・子育て世代等に対して、地域公共交通と福祉交通の連携等による対応を検討する。

妊娠中や小さなお子さんの子育て中は、定期検診や子どもの急な体調不良による医療機関の受診などでの外出が必要です。しかし、心身や体調の変化が大きい妊娠期の移動、ベビーカーや大きな荷物などを抱えながらの子どもとの移動は大変です。子育て世代が安心して利用できるような外出支援に取り組むことで、子どもと子育てを応援するまちづくりが一層進んでいくことにつながると期待しています。

箕輪委員

中学校の生徒数が50年前のおよそ半分に、児童・生徒が一人1台パソコンを持って授業を受けるのが当たり前となるなど、学校教育を巡る環境は変化しています。未来の教育環境を見据えて、中学校の適正な数やどのような校舎を建設するのか、子どもの学びを第一に、建築面、財政面なども含め、子どもや保護者、地域の声、専門家の知見から全市的に検討していくことが大切だと思います。

吉祥寺イーストエリアのまちづくり

都市基盤

基本施策6 活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり

① 吉祥寺駅周辺

イーストエリアは、これまでの環境浄化や美化の取り組みを継続するとともに、武蔵野市まちづくり条例*に基づき民間開発事業の調整を行うことで、良好な街並みの形成に努める。また、吉祥寺シアターの立地や音楽スタジオの集積などにより新たな魅力が芽生えつつあるが、まだまちの潜在力を十分に引き出せていない。快適性や安全性、地域性を備えたにぎわいのある魅力的なエリアとするため、本町コミュニティセンターの移転にあわせて、中高生世代の居場所づくりなどの施設の複合化に向けた具体的な検討を進めるとともに、消防団第2分団詰所の建替え、基盤整備の基本となる市道第298号線・299号線の拡幅整備事業を行う。

また、本町コミュニティセンターの跡地については地域的な背景を踏まえつつ、市有地の有効活用の可能性についても検討を進めていく。

今後の学校改築のあり方の検討

子ども・教育

基本施策5 教育環境の充実と学校施設の整備

④ 学校改築の着実な推進と安全・安心かつ適切な施設環境の確保

「武蔵野市学校施設整備基本計画」に基づき、改築事業に着手している。学校の改築においては、地域で子どもたちを育てるという視点が大切である。今後の改築事業が予定される学校は、子どもの学びを第一に、全市的な視点から中学校の適正な数や将来を見据えた校舎のあり方について、子ども、教職員、保護者、地域の意見や専門家の知見を踏まえ、建築面や財政面なども含めて検討し、改築を進める。

*地域公共交通…路線バスやタクシー、ムーバス、レモンキャブなど、地域住民の日常生活・社会生活における移動や観光客などの当該地域を来訪する方の移動のために利用される公共交通機関のこと。
*まちづくり条例…市のまちづくりの基本的な考え方、都市計画等の決定等における市民参加の手続き、開発事業等に関する手続きや基準等を定めた条例。